

小牧岩倉衛生組合職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 1 1 月 1 日

小牧岩倉衛生組合

管理者 小牧市長 山 下 史守朗

小牧岩倉衛生組合規則第 1 0 号

小牧岩倉衛生組合職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則

小牧岩倉衛生組合職員の勤務時間、休暇等に関する規則（平成 7 年小牧岩倉衛生組合規則第 2 号）の一部を次のように改正する。

第 15 条第 1 項第 12 号中「看護」を「看護等」に、「又は疾病」を「、疾病」に、「世話をを行う」を「世話若しくは学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 20 条の規定による学校の休業その他これに準ずるものとして管理者が定める事由に伴うその子の世話をを行うこと又はその子の教育若しくは保育に係る行事のうち管理者が定めるものへの参加をする」に改める。

第 16 条の 2 第 2 項中「、始業の時刻から連続し、又は終業の時刻まで連続した」を削る。

第 16 条の 3 第 2 項中「介護時間は、1 日を通じ、始業の時刻から連続し、又は終業の時刻まで連続した 2 時間（」を削り、「第 19 条第 1 項の規定による部分休業」を「第 19 条第 2 項第 1 号に掲げる範囲内で請求する同条第 1 項に規定する部分休業又は条例第 15 条の 3 第 2 項第 1 号に掲げる範囲内で請求する同条第 1 項に規定する子育て部分休暇」に改め、「ある日」の次に「の介護時間」を加え、「当該 2 時間」を「1 日につき 2 時間」に改め、「当該部分休業」の次に「又は当該子育て部分休暇」を加え、「時間）」を「時間」に改める。

第 18 条中「第 22 条」を「第 23 条」に改める。

第 19 条の見出し中「及び介護時間」を「、介護時間及び子育て部分休暇」に改め、同条中「又は介護時間」を「、介護時間又は子育て部分休暇」に、「又は第 15 条の 2 第 1 項」を「、第 15 条の 2 第 1 項又は第 15 条の 3 第 1 項」に改める。

第 21 条第 1 項中「）又は」を「）若しくは」に改め、「により」の次に「、又はこれらの請求書に記載すべき事項を記録した電磁的記録を作成して」を加え、同条第 2 項を削り、同条第 3 項中「第 1 項」を「前項」に改め、同項を同条第 2 項とし、同条第 4 項を同条第 3 項とする。

第 24 条を第 26 条とし、同条の前に次の 1 条を加える。

(条例第 17 条の 2 第 2 項の規則で定める期間)

第 25 条 条例第 17 条の 2 第 2 項の規則で定める期間は、同項に規定する対象職員の子が 1 歳 11 か月に達する日の翌々日から 2 歳 11 か月に達する日の翌日までの 1 年間とする。

第 23 条を第 24 条とする。

第 22 条中「又は介護時間」を「、介護時間又は子育て部分休暇」に改め、同条を第 23 条とし、第 21 条の次に次の 1 条を加える。

(子育て部分休暇の請求)

第 22 条 子育て部分休暇の承認を受けようとする職員は、別に定める請求書により、又は当該請求書に記載すべき事項を記録した電磁的記録を作成して任命権者に請求しなければならない。

2 前項の規定による子育て部分休暇の請求をしようとする職員は、毎年度あらかじめ、次の各号に掲げる範囲内のうちいずれの範囲内で子育て部分休暇を請求するかを任命権者に申し出るものとする。

(1) 1 日につき 2 時間を超えない範囲内

(2) 1 年につき 77 時間 30 分を超えない範囲内

3 前項の規定による申出をした職員は、配偶者が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者と別居したことその他の当該申出時に予測することができなかった事実が生じたことにより当該申出の内容を変更しなければ職員の当該子育て部分休暇の請求に係る子の養育に著しい支障が生じると任命権者が認める事情がある場合に限り、当該申出の内容を変更することができる。

様式第 5 中「子の看護」を「子の看護等」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。